

PRESS RELEASE

2026年1月19日

報道関係者 各位



専修大学野球部新監督に町田公二郎氏が就任 ～町田新体制のもと、大学選手権優勝をめざす～

この度、専修大学野球部は、齋藤正直（さいとう まさなお）監督の任期満了による退任に伴い、2026年2月1日付で町田公二郎（まちだ こうじろう）氏が監督に就任することが決定しましたのでお知らせいたします。

【町田公二郎 略歴】

1969年12月11日生まれ、高知県出身。1985年、明徳義塾高校に入学し、3年春に選抜甲子園大会へ出場。1988年、専修大学に進学。2年次春の東都大学リーグ戦で首位打者を獲得し、当時歴代最多となる31回目の優勝に貢献した。2年次から4年次まで大学日本代表に選出され、1991年のドラフト会議で広島東洋カープから1位指名を受けNPB入り。その後、阪神タイガースでも活躍し、セ・リーグの代打本塁打記録を樹立した。2006年に現役を引退後、阪神と広島で打撃コーチを務め、三菱重工広島硬式野球部や福井工業大学で監督として指導にあたった。

【町田新監督 コメント】

東都大学リーグ1部への復帰、さらには大学選手権優勝という大きな目標に向けて、部員と共に全力でチャレンジしていきます。伝統あるチームの誇りを胸に、日々の練習で積み重ねた努力を結果につなげたいと思います。応援してくださる皆さまの期待に応えられるよう、チーム一丸となって挑戦し続けますので、引き続き温かいご声援をよろしくお願いいたします。

【野球部紹介】

1925年創部。五大学野球連盟（現・東都大学野球連盟）発足後、初のリーグ戦にて優勝。その後、東都大学リーグ1部で最多となる32回の優勝を誇る。戦前・戦後を通じて、東都の強豪として君臨した。長い歴史の中で多くの選手を球界に送り出しており、往年の名選手には中尾孝義（中日—巨人—西武）、山沖之彦（阪急—オリックス—阪神）、岡林洋一（ヤクルト）、杉山賢人（西武—阪神—近鉄—横浜）、小林幹英（広島）、黒田博樹（広島—ドジャース—ヤンキース—広島）、江草仁貴（阪神—西武—広島）、長谷川勇也（ソフトバンク）など。現役選手には高橋礼（ソフトバンク—巨人—西武）、福永裕基（中日）、菊地吏玖（ロッテ）、西館昂汰（ヤクルト）などが名を連ねる。

【発信元】

理事長室 広報課

東京都千代田区神田神保町3-8 TEL:03(3265)5819 FAX:03(3265)0779

E-mail:koho@acc.senshu-u.ac.jp